

科目コード					担当者氏名		准教授 太郎丸 博		
授業科目名 (英訳)	社会学演習 Sociology(Seminars)								
配当学年		単位数	2	開講期	後期	曜時限	金2	授業形態	演習
題 目	多変量解析実習 (専門社会調査士科目 I)								
〔授業の概要・目的〕									
<p>数理統計学の基礎を踏まえながら、多変量解析に共通する計量モデルを用いた分析法を基本的に理解することを目指す。コンピュータを使ったデータの分析とその結果の解釈に重点を置く。</p>									
〔授業計画と内容〕									
<ol style="list-style-type: none"> 1. 回帰分析の復習 2. 非線形モデル (対数変換、二乗項の投入) 3. 交互作用効果の検討 4. モデルの選択 (AIC, BIC, F検定) 5. モデルの診断 (残差プロット、VIF) 6. 二項ロジスティック回帰分析 7. 最尤推定法と尤度比検定 8. 多項ロジスティック回帰分析 9. 順序ロジスティック回帰分析 10. 分析結果のまとめ方とグラフの利用 									
〔履修要件〕									
専門社会調査士科目Hの単位を修得済みであること									
〔成績評価の方法・基準〕									
出席 (20%) ・ 報告 (20%) ・ レポート (60%)									
〔教科書〕									
なし									
〔参考書等〕									
荒木孝治, 2007, 『RとRコマンダーではじめる多変量解析』日科技連出版社									
〔その他(授業外学習の指示・オフィスアワー等)〕									
<p>オフィスアワーは授業中に指示。授業時間外にも、実際にデータを分析し、その結果を解釈する作業が必要になる。</p>									